

令和元年10月31日

貧酸素水塊速報 (2019年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 ○ 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会

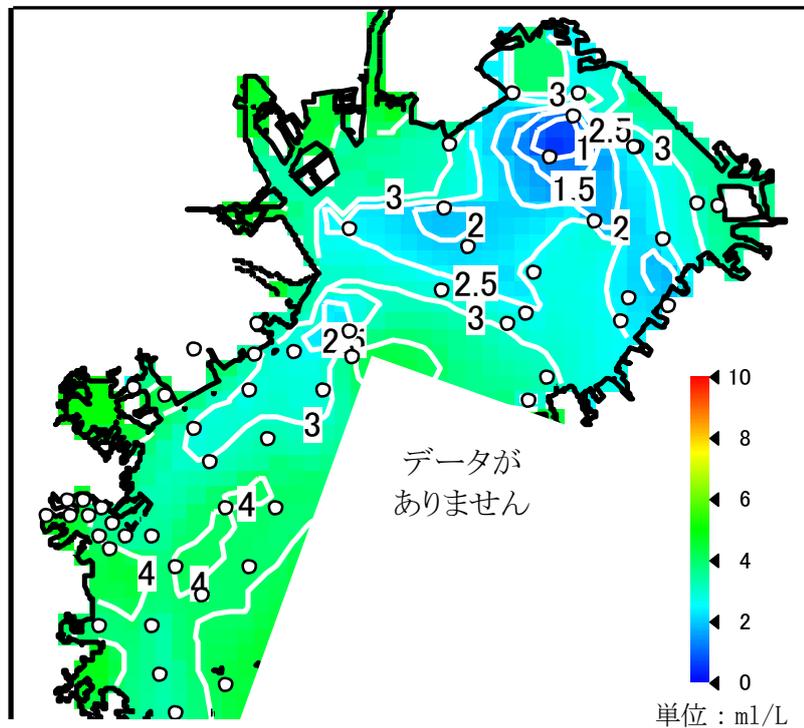
【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和元年10月28～29日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による今年最後の調査結果です。半年間お疲れ様でした。内湾北部のみの調査結果です。

貧酸素水塊は内湾北部の一部に認められます。川崎～横浜沖では解消した模様です。

内湾北部の水温は、表層18～19℃、底層19～20℃です。先週金曜日(10月25日)の大雨により、表層の塩分は概ね30以下と低くなっています。



底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	